

2009年度シラバスに以下のとおり訂正がありますので、各自で訂正願います。

(裏面の訂正箇所を訂正してから、枠線で切り取って当該ページに貼り付けてください。)

2009年度より、GPA制度を実施することになりました。つきましては、成績の評価基準をより明確にするために、冊子版シラバスから成績評価の内容が変更されている場合がありますので、WEBシラバスで成績評価について再度確認をしてください。なお、GPA制度の詳細については、履修要項を参照してください。

<705 ページ>講義の追加

2年次特講⑭(演習方式 公法系)

担当 者：丸山敦裕

授業コード：41J14

単 位：2単位

講義日時：前期 金曜1限

特記事項：WEB登録で先着20名

■講義の内容・目的

この授業では、憲法(主に基本的人権に関する)の基本判例について検討を加え、判例それ自体のみならず憲法学説についての理解を深めることを目的とする。

憲法の教科書や基本書を用いて学習を進めると様々な判例が紹介されていることに気づく。それがあつる学説を説明する際の根拠となつている場合もある。とはいへ、紙幅の都合もあり、その判決を支える事実関係や背景が詳細に語られることは極めて稀である。そのため、教科書等のみで学習する場合には、どうしても判決中で示された規範ばかりに目がいってしまう。そうなると、類似する事例に対して機械的にこの規範をあてはめたくなるものである。しかし、1つひとつの事件には1人ひとりの人生がかかっていることを忘れてはならない。事件の固有性を捨象し、類似する事例という理由で全てを十把一絡げにして機械的に取り扱うことは、適切とはいえないだろう。

以上のことをふまへ、この授業では、憲法の基本判例につき判決文全文に目を通すことで、1つひとつの事件の固有性を感じ取り、他の類似する事件との距離感を意識することを通じて、判例の意図するところを正しく理解することに努めたいと考える。こうした訓練を積むことで、はじめて、現実の事件に判例学習の成果を生かすことのできる力、つまり実践的応用力を身につけることができると思われるし、また、諸学説の対立の背景が輪郭をもって見えてくるであろう。

■講義方法

毎回1~数人の報告担当者に対して、同様に1~数人の討論者を用意し、それぞれ相対する立場からレジュメに基づいて立論を行ってもらい、他の参加者は予習段階から質問事項を用意し、当日の報告者らの報告をふまえた上で、各自の立場から自由に質疑や批判を行うといった形式で授業を進める。

■成績評価

報告内容および質疑応答への参加に対する積極性、事前の授業準備における誠実さ、出席回数によって評価を行う。

■講義構成

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 外国人の人権(マクリーン事件等)
- 第3回 公務員の人権(猿払事件等)
- 第4回 法人の人権(南九州税理士会事件等)
- 第5回 人権の私人間効力(三菱樹脂事件等)
- 第6回 自己決定権(エホバの証人輸血拒否事件等)
- 第7回 法の下での平等(非嫡出子相続分事件等)
- 第8回 政教分離の原則(津地鎮祭事件等)
- 第9回 表現の自由と内容規制(岐阜県青少年保護育成条

例事件等)

第10回 表現の自由と名誉・プライバシー(北方ジャーナル事件等)

第11回 集会・結社の自由(泉佐野市民会館事件等)

第12回 財産権の保障と限界(薬局距離制限事件等)

第13回 生存権の法的性格(森林法共有林分割制限事件等)

第14回 選挙権の保障(在外国民選挙権訴訟等)

■教科書

特に指定はしないが、事前に資料を配付することがある。また、判決文全文については、出席者各自が入手の上、事前に目を通して授業に参加すること。

■担当者から一言

授業の雰囲気はざつぱらんでありつつも、学問的な真剣さは損なわれないような場とすることができれば、それが一番であると考えます。一皮むけたい方の参加をお待ちしております。

<42 ページ>担当者・内容の変更

認知科学(後)
担当 <small>タケチユウコ</small> 者：武知優子 ⇒ 野村弘平 <small>ノムラコウヘイ</small>
授業コード：A5150
単 位：2単位
講義日時：後期 水曜4限
特記事項：理工学部・知能情報学部は1年次から、他学部は2年次から履修してください。

■講義の内容・目的

認知科学は人間の知的活動を扱って近年注目を浴びる学問であり、心理学・言語学・生理学・人類学などの様々な領域にまたがる学際的な学問でもある。本講義では、概説に具体的な実験例を交えつつ、日常生活で行なわれる我々の知的活動の基盤を探っていく。

■講義方法

頒布プリントを用いて授業をおこなう。

■成績評価

定期試験の成績をもとに評価する予定である。

■講義構成

- 1 「認知科学とは」
- 2～5 「知覚」
- 6～9 「認知と言語」
- 10～13 「思考」
- 14 「意識」

上記は目安であり、変更の可能性がある。
講義毎に、受講者の質問に答える時間を設ける予定である。

■教科書

特に指定しない。

■担当者から一言

講義中の質問を歓迎します。

<57 ページ>講義構成の一部変更

環境教育の実践Ⅱ

■講義構成（変更部分）

- （第07回）環境ホルモン測定の測定（本校舎）【茶山】
- （第08回）文学と心の環境（本校舎）【高阪】
- （第09回）古地図から読み解く環境の変化（本校舎）【鳴海】
- （第10回）さんご礁と地球温暖化（本校舎）【中井】

<86 ページ>講義日時の変更

言語と文化Ⅱ フランス
担当 <small>ナカムラ ノリコ</small> 者：中村 典子
授業コード：T2003
単 位：2単位
講義日時：通期 金曜3限 ⇒ 後期 金曜3限

<89 ページ>担当者の追加

言語と文化Ⅱ 韓国
担当 <small>キム テホ リュウ キュウサン</small> 者：金 泰虎、柳 圭相

<103 ページ>担当者の変更

基礎英語Ⅱ (B)
担当 <small>マック トーマス M</small> 者：マック トーマス M、他 ⇒ ベイリー モーリ J 、他

<149 ページ>担当者の変更、授業コードの追加

上級 TOEIC①②PA③PA⑪⑬⑮
担当 <small>ハマダ サトル</small> 者：浜田 悟 ⇒⑪⑬浜田 悟 ⇒①②PA③PA⑮ [前] <small>ヤマダタカコ</small> 山田孝子 [後] <small>ハマダ サトル</small> 浜田 悟
授業コード：M1501、M1502、M1503、M1511、 M1515

<169 ページ>内容の訂正

中級フランス語Ⅰ⑥
担当 <small>キヌダ シンゴ ヤマモトシユウジ</small> 者：安田普也、山本正二

■講義の内容・目的

日本人教員2名が週2コマ（月1限・金3限）を交替で担当する⇒日本人教員2名が週2コマ（**水3限・金5限**）を交替で担当する

<224 ページ>担当者の変更

日本文学概論Ⅱ
担当 <small>タナカタカコ</small> 者：田中貴子 ⇒ <small>スホウトモコ</small> 周防朋子

<229 ページ>担当者の変更

演習Ⅰ (L2)
担当 <small>タナカタカコ</small> 者：田中貴子 ⇒ <small>サトウアユミ</small> （前）佐藤愛弓 <small>タナカタカコ</small> （後）田中貴子

<232 ページ>担当者の変更

演習Ⅱ (L2)
担当 <small>タナカタカコ</small> 者：田中貴子 ⇒ <small>スホウトモコ</small> （前）周防朋子 <small>タナカタカコ</small> （後）田中貴子

<246 ページ>担当者の変更

中世文学研究(中世文学特殊講義)
担当 <small>タナカタカコ</small> 者：田中貴子 ⇒ <small>サトウアユミ</small> 佐藤愛弓

<248 ページ>担当者・曜日時限・内容の変更

現代文学講読Ⅱ

トリエマチコ イワミサチエ
担当者：鳥居真知子 ⇒ 岩見幸恵

授業コード：11046

単 位：2単位

講義日時：後期—本曜3限 ⇒ 後期 月曜2限

■ 講義の内容・目的

村上春樹の短編集『東京奇譚集』を中心に取り上げる。作家の経歴、作品の事件的背景、引用、地図等について考察し、最新作『1Q84』やその他の短編集と比較する。

■ 講義方法

授業形式で講義を行う。最初は作家の伝記的問題を検討し、その後作品集及び収録作品の梗概を把握し、そのディテール等について論じる。

■ 成績評価

期末試験、レポート、出席率によって総合的に評価する。

■ 講義構成

- 1、オリエンテーション
- 2、作者の伝記
- 3、短編集の構造について
- 4、『蛭、納屋を焼く・その他の短編』
- 5、『神の子どもたちはみな踊る』
- 6、『象の消滅』
- 7、『めくらやなぎと、眠る女』
- 8、『東京奇譚集』(1)「偶然の旅人」
- 9、『東京奇譚集』(2)「ハナレイ・ベイ」
- 10、『東京奇譚集』(3)「どこであれそれが見つかりそうな場所で」
- 11、『東京奇譚集』(4)「日々移動する腎臓のかたちをした石」
- 12、『東京奇譚集』(5)「品川猿」
- 13、連作としての意味
- 14、『1Q84』について
- 15、まとめ

■ 教科書

村上春樹『東京奇譚集』（新潮文庫、420円）

■ 担当者から一言

提出物は確実に提出すること

<245 ページ>教科書の価格の変更

中古文学研究(中古文学特殊講義)

イノウエシンコ
担当者：井上新子

■教科書

塚原鉄雄校注 新潮日本古典集成『堤中納言物語』（新潮社、~~2600円~~ ⇒ **3150円(税込み)**)

<457 ページ>担当者・シラバスの内容の変更

言語学概論Ⅱ

カイモトフミ クゴタカユキ
担当者：甲斐基文 ⇒ 久後貴行

■講義の内容・目的

広く言語一般に適用できる言語学の基本的事項について学び、自分自身で言語について考察するための基礎を身に付けます。

■講義方法

基本的に講義形式ですが、学生諸君にも考えて発言してもらいます。

■成績評価

平常点と学期末試験の結果をもとに総合評価します。

■ 講義構成

1. 言語学を学ぶに当たって基本事項の確認
2. 形態論(1)
3. 形態論(2)
4. 形態論(3)
5. 統語論(1)
6. 統語論(2)
7. 統語論(3)
8. 意味論(1)
9. 意味論(2)
10. 意味論(3)
11. 語用論
12. 類型論
13. その他の諸分野
14. まとめ
15. 試験

■教科書

『言語学 [第2版]』、風間喜代三他著、東京大学出版会

<259 ページ>教科書の変更

日本語教授法研究 I
担当 者： <small>ハセガワ シンカズ</small> 長谷川 重和

■ 教科書

国立国語研究所(編) 寺村秀夫著『日本語の文法(上)』
—(日本語教育指導参考書4) 国立印刷局—

ISBN4-17-311404-4

⇒**随時資料を配付する。**

<266 ページ>担当者的変更

演習Ⅲ (L2)
担当 者： <small>タナカタカコ</small> 田中貴子 ⇒ <small>スホウトモコ</small> (前)周防朋子 <small>タナカタカコ</small> (後)田中貴子

<338~339 ページ>教科書の変更

ワークショップ I a①②③④
担当 者：① <small>フクシマアキトシ</small> 福島彰利 ② <small>ワシオジュンコ</small> 鷺尾順子 ③ <small>ミズモトユキ</small> 水本有紀 ④ <small>カンバラユキコ</small> 神原由紀子

■教科書

開講時指定 ⇒

Essential Approach for the TOEIC Test. By Osuka, Tsukano, Yamamoto, Van Benthuysen. 成美堂

<400~401 ページ>講義日時の変更

ライフサイクル論Ⅱ
担当 者： <small>ミヤガワ キミコ</small> 宮川貴美子
授業コード： 14029
単 位： 2単位
講義日時： 後期 火曜2限 ⇒ 1限

<404 ページ>教科書の変更

美術史Ⅱ
担当 者： <small>イシハラ</small> 石原みどり

■教科書

使用しない ⇒冊子体のシラバスには「使用しない。」とありますが、教科書を使用する予定です。教科書については第1回目、第2回目の授業の際に説明します。

<409 ページ>担当者・シラバスの内容の変更

行動科学
担当 者： <small>シオザキ マリコ</small> 塩崎麻里子 ⇒一言英文 <small>ヒトコトヒデフミ</small>

■ 講義の内容・目的

私たちは普段、笑い、食べ、話し、考え、悩みながら毎日を過ごします。人間は、さまざまな行動をする生き物といえるでしょう。行動科学とは、人の行動を科学的にとらえることによって人間を理解しようとする研究を行っています。人の行動は多様であり、社会がますます複雑になる現代において、人の行動に潜む法則を理解するはさまざまなことに応用できる知識となっています。本講義では、学習心理学や社会心理学、感情心理学などに触れながら、人の行動の法則を理解することを目的としています。

■ 講義方法

パワーポイントと配布資料

■ 成績評価

定期試験(80%)と、時々行う課題(20%)で評価します。

■ 講義構成

1. 行動科学について&行動の生物学的基礎
2. 行動の生物学的基礎
3. 学習：古典的条件づけ
4. 学習：オペラント条件づけ
5. 感情：心理学における感情
6. 感情：個々の感情について
7. ストレスと健康
8. 動機づけ
9. 自己
10. 性格
11. 状況
12. 社会的認知
13. 文化
14. まとめ
15. 試験

■ 教科書

特になし

<410 ページ>担当者的追加

心理学実習
担当 者： <small>ホカリチエ</small> 穂苺千恵、 <small>モリシゲキ</small> 森 茂起、 <small>キタガワメグミ</small> 北川 恵、 <small>ハゲダイシン</small> 羽下大信 <small>ミヤガワ キミコ</small> 、 <small>オザキカツヒロ</small> 宮川貴美子、 <small>コダマヨシコ</small> 尾崎勝彦、 児玉佳子

<411 ページ>担当者的変更

心理テストⅡ
担当 者： <small>ホカリチエ</small> 穂苺千恵、 <small>キタガワメグミ</small> 北川 恵、 <small>ハゲダイシン</small> 羽下大信、 <small>モチツキマサエ</small> 望月昌恵

<412 ページ>担当者・シラバスの内容の変更

心理療法

担当 者: キタガワメグミ 北川 恵 ⇒ モリシゲユキ 森茂起・アカシカヨ 明石加代・ハマダトモタカ 濱田智崇

■ 講義の内容・目的

対人援助と心理療法の基本的な考え方や姿勢を学ぶ。心理療法の主要な理論や技法も紹介する。

■ 講義方法

講義形式で行うが、グループディスカッションや実習などの体験的要素を取り入れる。

■ 成績評価

授業への参加、レポート、テスト。

■ 講義構成

9/21 概説 森

9/28 子どもの行動療法 森

10/5 来談者中心療法① 明石

10/12 同② 明石

10/19 精神分析的な心理療法① 森

10/26 同② 森

11/2 認知行動療法 明石

11/9 同② 明石

11/16 遊戯療法 森

11/30 箱庭療法① 濱田

12/7 同② 濱田

12/14 同③ 濱田

12/21 同④ 濱田

1/4 まとめ 森

<423 ページ>特記事項の変更

阪神文化論 I (阪神文化論)

担当 者: イノセクミエ 井野瀬久美恵・カワウチアツロウ 河内厚郎・オオモリアキヒサ 大森亮尚

特記事項: 2008 年度以前入学生用

<424 ページ>特記事項の変更

歴史と思想(歴史と思想 I)

担当 者: カワイキョウタカ 川合清隆

特記事項: 2008 年度以前入学生用

歴史と自然(歴史と自然 I)

担当 者: イナダセイイチ 稲田清一

特記事項: 2008 年度以前入学生用

<441 ページ>担当者・シラバスの内容の変更

観光文明学 I

担当 者: マイタアキオ 真板 昭夫 ⇒ マエダヒロシ 前田 弘

■ 講義の内容・目的

観光は 19 世紀の近代西欧社会で生み出された文明システムである。それは、20 世紀において、マスツーリズム(大量観光、大衆観光)として地球的規模で拡大を続け、今世紀においては、環境問題やライフスタイルの変化に応じて「新たな観光(ニューツーリズム)」への転換が求められている。本講義ではそのような観光の役割や展望について、19 世紀から今世紀にかけての歴史的過程を見直しながら考える。

■ 講義方法

パワーポイントやDVDを用いた講義方式を中心に、適宜、受講者に意見を求め、ディスカッションの機会も設ける。

■ 成績評価

出席状況、受講態度や最終回の課題レポートの内容によって、総合的に評価する。

■ 講義構成

第 1 回: 近代文明現象として観光

第 2 回: 現代の観光～マスツーリズム

第 3 回: 自然保護の思想: 近代文明としての自然保護

第 4 回: 自然保護の父: ジョン・ミュア

第 5 回: エコロジーの思想

第 6 回: 持続可能な開発

第 7 回: エコツーリズムの登場

第 8 回: エコツーリズムの概念と構造(しくみ)

第 9 回: エコツーリズムとエコツアー

第 10 回: 日本型エコツーリズム

第 11 回: インタープリテーション

第 12 回: キャリング・キャパシティ

第 13 回: カメルーンのエコツーリズム(ゲスト・スピーカー)

第 14 回: エコツーリズムのマネジメント

第 15 回: まとめとレポート作成

<459 ページ>担当者の削除

基礎物理学実験

担当 者: ムラキヤスシ 村木 綏、アオキタマオ 青木珠緒、アキムネヒデトシ 秋宗秀俊、

アンドウヒロアキ 安藤弘明、イチダマサオ 市田正夫、ウツノミヤヒロアキ 宇都宮弘章、

ウメツイクロウ 梅津郁朗、カジノフミヨシ 梶野文義、コボリヒロミ 小堀裕己、

スギムラアキラ 杉村 陽、スサハジメ 須佐 元、トミナガノゾム 富永 望、

ミズノケンイチ 水野健一、ヤマガタタミオ 山県民穂、ヤマサキアツシ 山崎篤志、

ヤマモトコナツ 山本常夏

<468 ページ>教科書の変更

基礎数学②

担当者: オカベヒサタカ 岡部久高

■教科書

出版社: 講談社サイエンティフィック 著者: 小寺平治
「超入門—微分積分」 ISBN978-4-06-155764-2
⇒ 出版社: 電気書院 著者: 松田 修
「改訂新版 これからスタート! 理工学の基礎数学」
ISBN978-4-485-30047

<477 ページ>教科書の変更

物性物理学Ⅱ

担当者: イイダ タケン 飯田 武

■教科書

「固体物理学—新世紀物質科学への基礎」H. イバツハ、H. リート著、石井力、木村忠正訳 (シュプリンガー)
⇒ 著名: 「固体物理学」(工学のために)
著者: 岡崎 誠 出版社: 裳華房
ISBN 978-4-7853-2214-4 C3042
定価: 3,200E (本体 3200 円+税)

<504 ページ>講義の追加

基礎生物学実験 (A) (B)

授業コード: (A) 22C01 (B) 22C02

単 位: 3 単位

講義日時: (A) 前期 月曜 3 限 月曜 4 限 月曜 5 限
(B) 後期 月曜 3 限 月曜 4 限 月曜 5 限

<516 ページ>担当者の追加

基礎化学 A

担当者: イワツキサトシ ササキムネオ 岩月聡史、佐々木宗夫

<518 ページ>担当者の追加

基礎化学 C

担当者: チャヤマケンジ ヒラヤマ サトシ 茶山健二、平山 鋭

<526 ページ>担当者の追加

物理化学 1

担当者: ヤマモトマサヒロ ササキムネオ 山本雅弘、佐々木宗夫

<554 ページ>担当者の追加

数理計画 I

担当者: ナカヤマヒロタカ コイデ タケン 中山弘隆、小出 武

<579 ページ>担当者的変更

入門ミクロ経済学(A-1~6) (B-1~6) (C-1~6) (D-1~6)

担当者: イチノヤスカズ ツグタカヒロ モリ タケン コヤマナオキ 市野泰和、柘植隆宏、森 剛志、小山直樹
ヒガシ ユウゾウ サイトウムネオキ オカタニリョウジ ミタニヒデキ オカモト
、東 裕三、斉藤宗之、岡谷良二、三谷英貴、岡本
ヒサシ テラジュウスケ シミズタカノリ タシロヨシツグ ワン リン
弥、寺地祐介、清水隆則、田代義次、王 凌、

ハギハラシロウ ミハラユウコ ユアサケイスケ テラサキ マミコ
萩原史朗、三原裕子、湯浅圭祐、寺崎真美子

<600 ページ>担当者的追加

キャリアゼミ(経済)①②③④

担当者: アオキコウジ ツグタカヒロ ①青木浩治、②柘植隆宏
ウエシマヤスヒロ テラオ タケル
③上島康弘、④未定 ⇒ 寺尾 建

<619 ページ>教科書の変更

今日の経済問題Ⅱ(グローバリズムとアジア)

担当者: キム ジュネン 金 俊行

■教科書

テキスト: 金俊行著『グローバル資本主義と韓国経済発展』
御茶の水書房 ⇒ 削除
参考文献に関しては、随時、紹介していく。

<667 ページ>教科書の変更

基礎演習(池田)

担当者: イケダヨシタカ 池田佳隆

■教科書

スチュアート・ヘンリ著、民族幻想論、解放出版社、2002年
⇒ 岩崎正洋編著、「国家の現在」、芦書房、2007年
(2625 円)

<770~771 ページ>担当者的追加

商学特論 c(実践的経営シミュレーション) ①②

担当者: オオツカハルユキ カトウナオコ 大塚晴之、加藤尚子

<771 ページ>担当者的変更

経営実務 b(人工社会の構築入門)

担当者: ヨシマツ ケイ サカヒラフミヒロ 吉松 慶 ⇒ 坂平文博

<772 ページ>講義日時の変更

経営実務 c(グローバル化する社会における経営者の役割)

担当者: ウエムラ タエコ シュレスタ マノジュ L、上村 多恵子
オガワ モリマサ レー ドック リュウ アフターブ セット
、小川 守正、LE DUC LUU、AFTAB SETH

授業コード: 51073

講義日時: 前期 金曜 2 限 ⇒ 5 限

<779 ページ>特記事項の変更

会計プロフェッション応用 a (管理会計)

担当者: ナカヤスフキコ 中安富紀子

特記事項: 事前申請科目—受講希望者は履修要項を参照してください。日商簿記検定 1 級程度の知識を有していることが望ましい。

<780 ページ>特記事項の変更

会計プロフェッション応用 b (財務会計論)
担当者: <small>アカガワキョウコ</small> 赤川京子
特記事項: 事前申請科目 —受講希望者は履修要項を参照してください。日商簿記検定 1 級程度の知識を有していることが望ましい。

<808 ページ>担当者の追加

最適化 I
担当者: <small>ナカヤマヒロタカ</small> 中山弘隆、 <small>コイデ タケシ</small> 小出 武

<856 ページ>講義の追加

教育の方法・技術①③⇒①③⑤
担当者: <small>ハトガイコウイチ</small> 鳩外耕一
授業コード: N0201、N0203、N0205
単 位: 2 単位
講義日時: ①前期 木曜 4 限 ③後期 水曜 4 限 ⑤通年 集中講義

<867 ページ>講義日時の変更

図書館総論 II
担当者: <small>バンバトシアキ</small> 馬場俊明
授業コード: R0020
単 位: 2 単位
講義日時: 後期 本曜 3 限 ⇒ 水曜 3 限

<248 ページ>担当者・曜日時限・内容の変更

現代文学講読 I
担当者: <small>トリイマチコ</small> 鳥居真知子 ⇒ <small>イワミサチエ</small> 岩見幸恵
授業コード: 11045
単 位: 2 単位
講義日時: 前期 本曜 3 限 ⇒ 前期 火曜 5 限

■講義の内容・目的

村上春樹の連作小説『神の子どもたちはみな踊る』を取り上げ、村上春樹という作家のクロニクル及び作品の事件的背景、引用、地図、初出との比較、字句の文飾といった細部の分析を行い、作品の有する意味について考察する。

■講義方法

授業形式で講義を行なう。最初に作者の伝記的問題を検討する。その後、作品集収録の作品の梗概（ストーリー）を把握した上で、その外側にあるディテール（細部）について論じる。

■成績評価

期末試験、レポート、出席率によって総合的に評価する。

■講義構成

- 1、オリエンテーション
- 2、作者の伝記 (1) 作家以前
- 3、作家の伝記 (2) 海外生活
- 4、作家の伝記 (3) 最近の活躍
- 5、作品集の書誌、初出等
- 6、題詞 (エピローグ)、挿画、扉等の外的問題について
- 7、「UFOが釧路に降りる」
- 8、「アイロンのある風景」
- 9、「神の子どもたちはみな踊る」
- 10、「タイランド」
- 11、「かえるくん、東京を救う」
- 12、「蜂蜜パイ」
- 13、他の作品との関係 (「アンダー・グラウンド」他)
- 14、連作としての問題 (書き下ろし等)
- 15、まとめ

■教科書

村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』新潮文庫

■担当者から一言

提出物は確実に提出すること。

<565 ページ>内容の変更

ソフトウェア工学

担当 者：新田直也
ニッタナオヤ

授業コード：24060

単 位：2 単位

講義日時：後期 水曜 4 限

■講義の内容・目的

大規模ソフトウェアが持つ手に負えない複雑性に対し、技術的に対応しようとする取り組みの総体がソフトウェア工学である。本講義ではソフトウェア工学の発展状況に対応するため、UML やデザインパターン、アジャイル開発手法といった現在産業界で注目されている比較的新しいトピックに重点を置いて講述するが、「何故このような考え方が出てきたのか」といった歴史的背景の理解や知識の体系化を促す意味で古典的な手法についても一通り紹介する。

■講義方法

配布資料をもとに講義を行う。

■成績評価

実習、レポート、試験をもとに評価する。

■講義構成

- 第 1 回 ソフトウェア危機とソフトウェア工学
- 第 2 回 ソフトウェア開発プロセスモデル
- 第 3 回 ソフトウェア分析設計モデル
- 第 4 回 テスト、保守、コスト見積もりモデル
- 第 5 回 演習
- 第 6 回 オブジェクト指向の概念(1)
- 第 7 回 オブジェクト指向の概念(2)
- 第 8 回 オブジェクト指向の概念(3)
- 第 9 回 UML に基づく開発手法(1)
- 第 10 回 UML に基づく開発手法(2)
- 第 11 回 演習
- 第 12 回 デザインパターン
- 第 13 回 アジャイル開発手法とリファクタリング
- 第 14 回 まとめ
- 第 15 回 試験

■教科書

特に指定しない

<718 ページ>内容の変更

民法総則 II(民法 I I) (C)

担当 者：住田英穂
スミタ ヒデホ

授業コード：41C53

単 位：2 単位

講義日時：後期 金曜 1 限

■講義の内容・目的

民法総則の後半部分に該当する部分を講義します。具体的には、下記「講義構成」を参照して下さい。

■講義構成

- 1 ガイダンス
- 2 法律行為と意思表示
強行規定違反
公序良俗違反
消費者契約法
- 3 無効・取消
- 4 代理
- 5 法人
- 6 時効
- 7 民法の基本原則・権利濫用・信義誠実の原則

<790 ページ>担当者・内容の変更

会計学基礎演習

ナイトウフミオ イケダコウジ
担当者：内藤文雄、池田公司

授業コード：52012

単 位：4 単位

講義日時：前期 月曜5限、後期 火曜3限

■講義の内容・目的

本講義は、次年度以降のAPコース履修科目を十分に理解できる会計学の基礎理論を習得し、当該基礎理論について明確かつ即座に説明できる能力を身につける教育効果をねらっている。

また、高度専門的かつ複雑な経済現象を対象とする比重が増している会計学を確実に理解するために、その基礎理論を各自の中に確立しておけば、基礎理論に立脚した論理性のある立論を行うことができる。すなわち、高度専門的かつ複雑な経済現象を会計的にどのようにとらえるかについて、受講生は明確に自己の考え方を主張できるという効果が期待される。

■講義方法

アカウンティング・プロフェッショナルに求められる資質・能力は、与えられたテーマについて、検討すべき論点を漏れなく適切に指摘し、各論点の意義を整理したうえで、解決策を独自に提案できることである。

本講義は、この能力を育成する基礎として、下記講義構成で掲げたテーマに関しておさえておくべき論点を解説したうえで、受講生がその内容を的確に把握できるように問題演習を行う。

また、通説の理解だけでなく、会計の考え方を異にする対立説も取り上げ、会計学の基礎理論についての受講生の理解を促進するよう配慮する。

そこで、前期においては会計学の基礎理論について、下記「講義構成」に掲げたテーマのうち1. から15. を対象とする。16. から30. のテーマは、後期の演習において学習する。

■成績評価

出席状況、授業での報告内容および討議への参加状況を総合的に評価する。なお、出席回数が12コマに満たない者は不可とする。

■講義構成

1. 財務会計の意義と機能
 - (1) 財務会計の意義
 - (2) 財務会計の機能 (情報提供機能・利害調整機能)
2. 財務会計の基礎概念①
 - (1) 会計公準 (企業実体の公準・会計期間の公準・貨幣的測定公準)
 - (2) 会計主体論 (資本主理論・企業実理論)
3. 財務会計の基礎概念②
 - (3) 利益概念 (当期業績主義と包括主義・現金主義会計と発生主義会計・財産法と損益法・資産負債アプローチと収益費用アプローチ・純利益と包括利益・資本維持論・資産評価と利益計算)
 - (4) 概念フレームワーク (財務報告の目的・会計情報の質的特性・財務諸表の構成要素・財務諸表における認識と測定)
4. 企業会計制度と会計基準①
 - (1) 会社法会計
5. 企業会計制度と会計基準②
 - (2) 金融商品取引法会計
6. 企業会計制度と会計基準③
 - (3) 会計基準 (企業会計原則とその一般原則・企業会計基準・会計基準の国際的調和化)

7. 資産会計総論①

- (1) 資産の意義 (定義・認識)
- (2) 資産の分類 (流動資産と固定資産、貨幣性資産と費用性資産、金融資産と事業資産)

8. 資産会計総論②

- (3) 資産の評価 (原価・時価・現在価値・公正価値)
- (4) 費用配分の原理

9. 流動資産①

- (1) 現金預金
- (2) 金銭債権

10. 流動資産②

- (3) 有価証券

11. 流動資産③

- (4) 棚卸資産 (棚卸資産の範囲・取得原価の決定・期末評価・棚卸計算法と継続記録法・払出原価の計算方法・評価減)
- (5) その他の流動資産

12. 固定資産①

- (1) 固定資産総論 (意義・分類)

13. 固定資産②

- (2) 有形固定資産 (取得原価の決定・減価償却の方法・個別償却と総合償却・減耗償却と取替法・臨時償却と減損・圧縮記帳)

14. 固定資産③

- (3) 無形固定資産 (取得原価の決定・償却)

15. 固定資産④

- (4) 投資その他の資産 (投資有価証券・投資不動産・長期前払費用)

16. 負債①

- (1) 負債の意義 (定義・認識・偶発債務)
- (2) 負債の分類と評価 (流動負債と固定負債・法的債務と会計的負債)

17. 負債②

- (3) 流動負債
- (4) 固定負債 (社債・資産除去債務)

18. 繰延資産

- (1) 繰延資産の意義
- (2) 繰延資産各論 (創立費・開業費・開発費・株式交付費・社債発行費等)

19. 引当金

- (1) 引当金の意義
- (2) 引当金各論 (製品保証引当金・退職給付引当金・売上割戻引当金・返品調整引当金・修繕引当金・債務保証損失引当金)

20. 純資産①

- (1) 純資産の意義
- (2) 純資産の分類 (株主資本・評価差額・換算差額・新株予約権)

21. 純資産②

- (3) 株主資本 (資本金・資本剰余金・利益剰余金・自己株式・剰余金の配当等)

22. 純資産③

- (4) 評価・換算差額等 (その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益)

23. 収益と費用①

- (5) 新株予約権
- (1) 収益と費用の意義
- (2) 収益と費用の分類 (経常損益と特別損益・法人税等)

24. 収益と費用②

- (3) 損益計算の原則 (発生主義・実現主義・費用収益の対応)

25. 収益と費用③

- (4) 収益と費用の認識と測定 (売上収益の認識・委託販売・割賦販売・試用販売・予約販売・工事契約・時間基準・内部利益の控除・役員賞与)

26. 財務諸表

- (1) 財務諸表の体系
- (2) 貸借対照表 (貸借対照表の種類・棚卸法と誘導法・完

全性・総額主義・区分表示・流動性配列と固定性配列・勘定式と報告式)

27. 財務諸表

(3) 損益計算書 (総額表示・区分表示・勘定式と報告式)

(4) 株主資本等変動計算書

28. 財務諸表

(5) キャッシュフロー計算書 (キャッシュフロー計算書の目的・利益とキャッシュフロー・資金概念・キャッシュフロー計算書の区分・直接法と間接法)

(6) 附属明細表

29. 財務諸表

(7) 注記 (会計方針・後発事象・偶発事象・時価情報・継続企業情報・1株当たり情報)

(8) 財務諸表の遡及修正

(9) 臨時計算書類

30. 財務報告制度の変革

■教科書

本講義においては教材を指定しない。毎回、オリジナルの教材を配布し、また、問題演習用の問題も配布する。なお、各テーマについて参照すべき文献については個々に指導する。

講義の追加

経営学特論 a (日本の経営の特質)

担当 者: ^{ナイトワフミオ}内藤文雄

授業コード: 51075

単 位: 4 単位

講義日時: 後期 月曜 1・2 限

特記事項: 経営学部交換留学生のほか、本講義の内容・目的に関心のある経営学部生で、受講に先立って実施する英文読解力の筆記試験(平成 21 年 9 月 18 日(金) 9:30-10:30 実施)をパスした学部生(3・4 年生または B L コース所属学生)は履修できる。

■講義の内容・目的

<講義の目的>

経営学部交換留学生が日本でのインターンシップを行う上で理解しておくべき経営の考え方、組織、人事、財務、経理、情報システムなど日本の経営の特質に関してその基礎知識を習得できるようにすること。

<講義の内容>

講義の目的を達成するため、経営の基礎知識に関する英文テキストを輪読し、英語または日本語で内容を説明の上、質疑応答を行う。

■講義方法

経営の基礎知識に関する英文テキストを輪読し、英語または日本語で内容を説明の上、質疑応答を行う。

■成績評価

出席状況、授業での報告内容および討議への参加状況を総合的に評価する。なお、出席回数が 20 回に満たない者は不可とする。

■講義構成

1. Introduction
2. A General Theory of Japanese Management (1)
3. A General Theory of Japanese Management (2)
4. A General Theory of Japanese Management (3)
5. A General Theory of Japanese Management (4)
6. Management and the Varieties of Capitalism (1)
7. Management and the Varieties of Capitalism (2)
8. Management and the Varieties of Capitalism (3)
9. Human Resources Departments in Large Japanese Firms: The Way It Was (1)
10. Human Resources Departments in Large Japanese Firms: The Way It Was (2)
11. Human Resources Departments in Large Japanese Firms: The Way It Was (3)
12. Human Resources Departments in Large Japanese Firms: The Way It Was (4)
13. Inside Japanese Companies Today (1)
14. Inside Japanese Companies Today (2)
15. Inside Japanese Companies Today (3)
16. Inside Japanese Companies Today (4)
17. The Evolution of Human Resource Management in the United States (1)
18. The Evolution of Human Resource Management in the United States (2)
19. The Evolution of Human Resource Management in the United States (3)
20. Inside U. S. Companies Today (1)
21. Inside U. S. Companies Today (2)
22. Inside U. S. Companies Today (3)

24. Comparative Survey Data (1)

25. Comparative Survey Data (2)

26. Comparative Survey Data (3)

27. Taking Stock and Looking Ahead (1)

28. Taking Stock and Looking Ahead (2)

29. Taking Stock and Looking Ahead (3)

30. Summary of Japanese Management

■教科書

1) Masaki Hayashi, A Historical Review of Japanese Management Theories: The Search for a General Theory of Japanese Management, Asian Business & Management (2002) 1, pp. 1-19.

(2) Stanford M. Jacoby, The Embedded Corporation: Corporate Governance and Employment Relations in Japan and the United States, illustrated edition, Princeton University Press (2007/8/3), Paperback, 236 pages.